

沖電気に今日も降る「ストレスの雨」 労務管理とメンタルヘルス教育の改善を

「いのち」を奪われるような働かせ方では、OKIの再建はできない。

OKIネットへ出向中に 過労自殺。遺族の訴え届く

2011年2月8日・新聞報道の例

過労自殺に労災認定

東京・亀戸労基署 沖電気勤務の男性

沖電気工業に勤務していた35歳（2009年当時）のシステムエンジニアの男性が過労自殺した問題で、東京の亀戸労働基準監督署が労働災害と認定した

ことが7日、男性の遺族が見つけて明らかになりました。男性は05年に同社グループの新会社・沖電気ネットワークインテグレーションへ出向。08年6月に大型プロジェクトへの配置転換があり、8月にうつ病を発症しました。休職後、同年12月に復職しましたが、09年8月にビルから投身自殺しています。遺族が10年6月、労災申請していました。

認定理由として同監督署は、大きなプロジェクトへの配置転換があり、1カ月あたり100時間以上の時間外労働が2カ月続いていたこと、その結果うつ病を発症し、自殺に至るまでの間に寛解（か）んかいし再発しないように様子を見ていく状態）していなかったことをあげています。業務外の心理的負荷や要因も認められないことから、労災と認定しました。復職後09年4月に産業医が残業は1カ月あたり20時間以内にとどめるよう指示していましたが、会社はそれを超える残業を課していました。担当した川人博弁護士は、「復職した被災者に対し、会社は十分な配慮をしていなかった。会社の責任は大きい。今後二度と同じことが繰り返されぬよう、労務管理とメンタルヘルス教育の抜本的改善を求める」としています。

長時間労働でクタクタの労働者

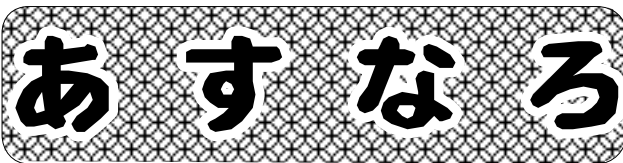
藤・システムセンタ（2千余人）は

午後8時以降退社が38%

沖電気の労使は仕事と生活の調和の実現のために、「長時間労働の抑制」「有給休暇の活用」に取り組んでいます。

埼玉県蕨市のOKIシステムセンタでは午後8時までの退社が宣言されているが、人員削減が常態化している職場は過重労働が続いています。

OKIシステムセンタは不夜城
2010年10月22日 午後11時10分



沖電気の職場を明るくする会

東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006

<http://oak47-02.web.infoseek.co.jp>

11年 特別号

職場新聞「あすなる」はOKIの職場新聞として1986年に発刊しました。「会」は「安心して人間らしく働ける職場」を願って創られました。

君 死にたもうなかれ 今日 残業やめて帰ろうよ

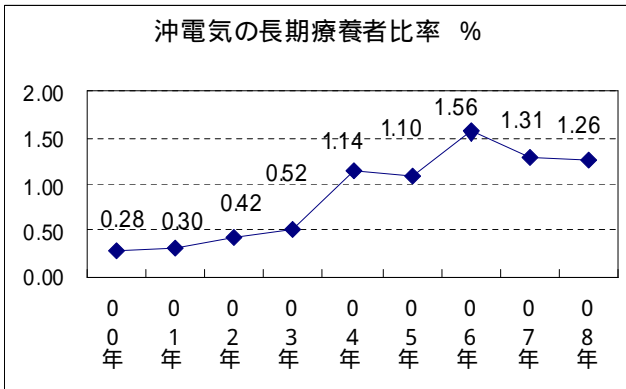
人間らしい働き方で過労死をださない職場を

あなたの残業時間は
「過労死ライン」を
超えていませんか

リストラ、構造改革が続く
沖電気の職場では、月80時
間を超える過労死ライン以上
の残業など、非人間的な労働
が常態化して、心と身体の健
康不安が拡大しています。
労使協定（36協定）の許容
残業時間の見直しも必要です。

- 《基本》（10年4月現在）
- ・1ヶ月 40時間以内
 - ・1年間 300時間以内
- 《特例・例外業務》
- ・1ヶ月 60時間以内
 - ・1年間 800時間以内

厳しい職場環境
長期療養者は高どまり



沖電気従業員の心と身体
の不調増大という企業病が
顕著になったのは02年の
リストラから。右のグラフ
は労組員で当年12月に3ヶ
月以上欠勤（長期療養）し
ている人の割合です。
異常値の1%を超える危
険な職場環境の改善が必要

増大する過労死・過労自殺 精神疾患は初の1000件超 （労災申請・厚生労働省）

《09年度・労働災害認定》
申請者1903人
認定は527人（27.7%）

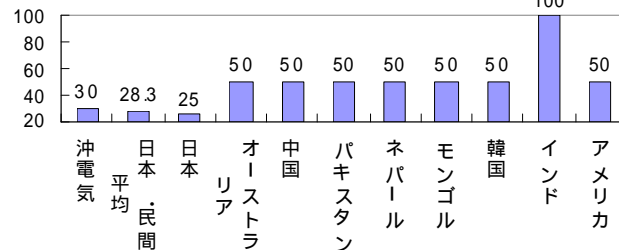
企業中心の日本社会で労災を
訴えることは、簡単ではありま
せん。そんな環境でも、勇気を
だして「働かせ方に問題あり」
と訴える本人や家族が増大して
います。毎年3万人を超える自
殺者とともに社会問題です。

09年過労で心の病を訴えた
人は1136人で認定者は2
34人（うち自殺者は63人）。
脳・心臓疾患で訴えた人は76
7人で認定者は293人（うち
死亡者は106人）

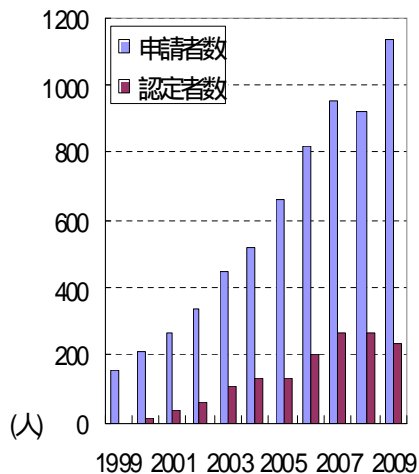
10年4月
《労働基準法改正》
月60時間超の
残業時間割増率が
50%に。45時間
超は25%以上
有給休暇は時間
単位の取得が可能
になります。
労使の協定が必
要です。下図は現在
の各国の割増率。



通常日の賃金割増率 %



うつ病など精神疾患の労災認定



労使は派遣など非正規を含む従業員の雇用・生活・健康を守るのが社会的責任です。